

松本市オンライン教育支援センター

オンラインを利用して、つながりのある人や場所を増やし生活を充実させることを主な目的としています。学習支援が主な目的ではありません。利用する小中学生の皆さんの希望をできるだけ取り入れて、安心して楽しむことができる居場所を目指しています。

できること

- 1 ClassroomのストリームやMeetを使って他の小中学生の利用者やスタッフと交流する。
- 2 仮想空間内のリンクから自分が使いたいサイトに行って、学習したり遊んだり相談したりする。
- 3 仮想空間で他の小中学生の利用者やスタッフ、大学生スタッフと交流する。
- 4 オフ会で他の小中学生の利用者やスタッフ、大学生スタッフと交流する。

利用者の皆さんの希望をできるだけ取り入れて、できることを増やしたりやり方を変えたりしていきます。

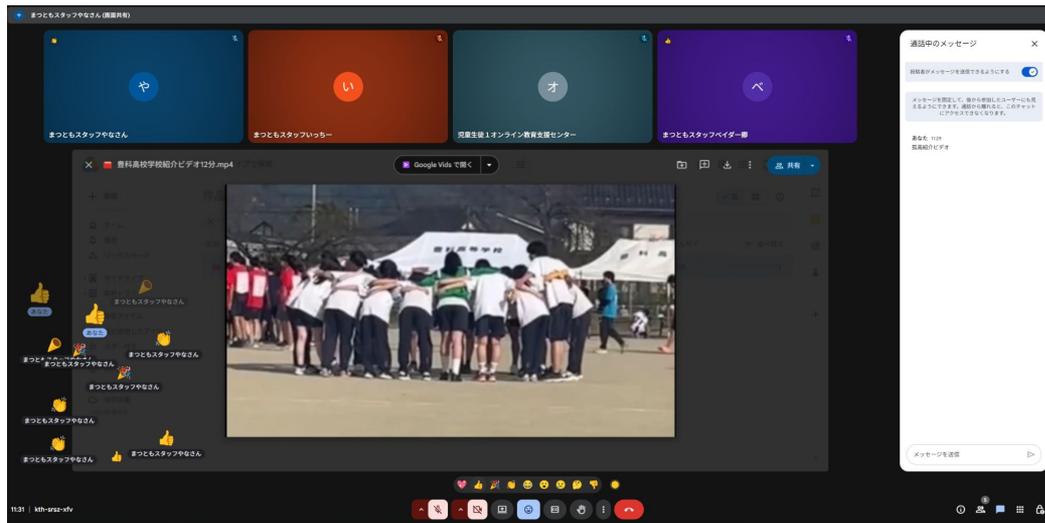
1 ClassroomのストリームやMeetを使って他の小中学生の利用者やスタッフと交流する

センターで機材設定、体験、通信テストをします(1時間30分程度)。後日、家庭とセンター間でMeetを使って通信テストをします(5分くらい)。その後も希望があれば日時を設定してMeetを使ったスタッフとの交流を続けます。

ストリームには、スタッフからのお知らせだけでなく利用者からの投稿も盛んにおこなわれています。

Meetの共有機能を利用して、利用者から好きな曲のリクエストを募って聴き合うイベントや高校紹介のビデオをみんなで視聴するイベントも行っています。

Classroom、仮想空間ともに利用にあたっては専用のアカウントを使用します。このアカウントを使用する時には、学校関係のものは表示されません。また、本名は表示されず、自分が決めたニックネームが表示されます。



高校紹介のビデオをMeetの共有機能を使って視聴している様子です。映像は仮想空間のスクリーンでも共有しています。カメラやマイクは基本的にオフにしていますが、チャットやリアクション機能を使ってコミュニケーションをとっています。

2 仮想空間内のリンクから自分が使いたいサイトに行って、学習したり遊んだり相談したりする

この仮想空間には利用者やスタッフ等の関係者以外は入ってこないので24時間利用可能にしています。ただし、教育委員会が貸し出している一人一台端末には、22:00から6:00までインターネットにつながらないように制限がかけられています。センターでの機材設定、体験、通信テストの後、自分の都合のよい時に利用することができます。スタッフが仮想空間にいるのは平日の10:00～12:00と13:00～14:00です。仮想空間内では、上にニックネームが表示されたアバターで活動します。アバターは自分で作り変えることができます。

・W (または↑) で前進、S (または↓) で後退、A (または←) で左回転、D (または→) で右回転、Qで左へ視界移動、Eで右へ視界移動。同時にShiftキーを押すと動きが速くなる。スペースキーでジャンプ。



マウスのダイヤルでズームイン、ズームアウト
マウスを左クリックしながら上下左右で視界の上下左右移動



マイクの
オン、オフ

チャット

各種アクション

アバター、
視点の変更
等

アバターの
変更等

3 仮想空間で他の小中学生の利用者やスタッフ、大学生スタッフと交流する

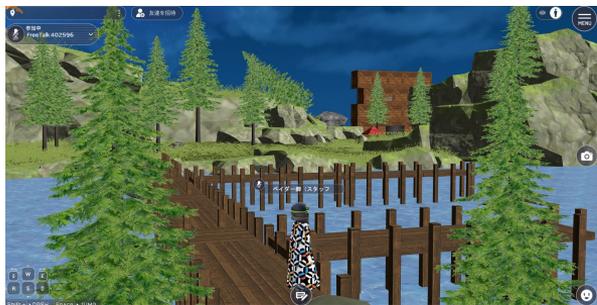
仮想空間でもボイスチャットやチャットを使って空間内の他のアバターとやり取りができます。



ホール: ボイスチャットを使いたいときに利用する部屋です。雑談、飲食店ごっこ(カフェなど)、「私は誰でしょう」、「しりとり」などをやっています。

あそびば: 鬼ごっこをするときに使っています。松本工業高校の生徒が松本城をモデルに作った空間です。





高校生ボランティア(昨年度の中中学校3年生だった利用者)が作成した3つの空間(かくれんぼ、おにごっこやアスレチックで利用)



今年度の利用者が作成した4つの空間





昨年度、松本工業高校の高校生ボランティアが仮想空間内での「かくれんぼ大会」を企画し、大会用の仮想空間をクリスマスバージョンと新春バージョンで作ってくれました。信州大学や松本大学の大学生スタッフの協力も得て、4回おこないました。今年度も松本工業高校の高校生ボランティアが新しい仮想空間を作成中です。

4 オフ会で他の小中学生の利用者やスタッフ、大学生スタッフと交流する

令和7年8月に初めてのオフ会となる「プラネタリウムを見る会」を行いました。利用者の希望を受けて、その後10月に「ハロウィンパーティー」、12月に「クリスマスパーティー」を行いました。



10月の「ハロウィンパーティー」で

その他

オンライン教育支援センターでは利用者がClassroomに残した利用記録をもとに利用した日を記録し、月ごとに利用状況を学校と家庭にお知らせします。松本市教育委員会では、オンライン教育支援センターの利用について、学校長の判断で出席扱いにできるとしています。